薬事委員会決定事項

薬事委員会 書記
薬剤部 小泉 祐一

平成 30 年 2 月 16 日の薬事委員会で以下の薬剤について決定いたしました。他の事柄についてもあわせてご報告いたします。

① 新規採用医薬品

ルパフィン錠 10mg (皮膚科)【院外限定】

薬効： アレルギー性疾患治療剤
申請理由： 第 2 世代の抗ヒスタミン薬。抗ヒスタミン作用に加え、抗 P A F (PAF : platelet activating factor 血小板活性化因子) 作用を併せ持つ。抗 P A F 作用により、炎症の腫れや夜間鼻閉など遅延型アレルギー症状にも一定の効果が期待できる。難治性患者に使用予定。
採用中止薬剤： なし

デザレックス錠 5mg (皮膚科)【院外限定】

薬効： 持続性選択 H1 受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤
申請理由： 第 2 世代の抗ヒスタミン薬。非鎮静性。眠気増加や運転能力の低下は認めず、車の運転をふくめ眠気に関する制限事項がない。持続時間が長く 1 日 1 回服用で、効果が持続する。
採用中止薬剤： なし

ツムラ参蘇飲エキス顆粒 (総合診療センター)【院外限定】

薬効： 漢方製剤
申請理由： 適応証 (体質) は、虚証 (虚弱)、寒証 (冷え)。葛根湯では強すぎて、胃がもたれてしまうような虚証向けの方剤。感冒に対して使用予定。
採用中止薬剤： なし

プログラフカプセル 1mg (リウマチ・膠原病科)【院外限定】

薬効： 免疫抑制剤
申請理由： カルシニューリン阻害薬と呼ばれ、免疫系のリンパ球に特異的に作用する薬剤。用量が多い場合に使用する。
採用中止薬剤： なし

レルベア 200 エリプタ 30 吸入用 (循環器内科)【院外限定】

薬効： 喘息治療配合剤
申請理由： 強力なステロイド薬と、長時間作動型 $\beta 2$ 刺激薬を配合した吸入製剤。気道の“炎症”と“狭窄”の両方を同時に改善。喘息にくわえ、慢性閉塞性肺疾患に対する効能が承認されている。COPD 合併の循環器疾患患者に対して使用。
採用中止薬剤： なし

レパース皮下注 420mg オートミニドザー（循環器内科）

薬効： ヒト抗 PCSK9 モノクローナル抗体製剤

申請理由： 薬剤が充填されたカートリッジと、専用の自動注入器から構成。従来のシリンジまたはペン製剤では 420mg の投与に 140mg 剤形を用いて 3 回の皮下注射の必要があったところ、AMD 製剤は、1 回 9 分かつハンズフリーで投与でき、歩行、手を伸ばす、腰を曲げるといった日常の軽い動作の妨げにならない。投与の際に注射針が見えにくい製品設計も特徴の一つ。

採用中止薬剤： レパース皮下注 140mg ペン

ベプリコール錠 50mg（循環器内科）

薬効： 頻脈性不整脈・狭心症治療剤

申請理由： Vaughan Williams 分類の「4 群」に分類されるが、1 群および 2 群に近い性質もあわせ持つ。新たに持続性心房細動に対する適用も取得。慢性心房細動アブレーション後に使用予定。

採用中止薬剤： エカード配合錠 HD → 【院外限定】

ジャドニュ顆粒分包 90mg/360mg（血液疾患センター）

薬効： 鉄キレート剤

申請理由： 同系統の薬剤であるエクジェイド懸濁用錠は水に溶解する必要がある。本剤は顆粒剤であり、患者がより服用しやすい剤形であるため。

採用中止薬剤： エクジェイド懸濁用錠 125mg

ジフォルタ注射液 20mg（血液疾患センター）

薬効： 抗悪性腫瘍剤

申請理由： 再発又は難治性の末梢性 T 細胞リンパ腫 (PTCL) に使用する薬剤。1 回の投与時間は 3~5 分と従来の多剤併用化学療法と比較して投与時間が短い。患者の QOL に影響を与えるような脱毛などは認められず、忍容性が高い。難治性の PTCL 患者に使用予定。

採用中止薬剤： なし（常時の在庫なし）

ジーンプラバ点滴静注 625mg（消化器内科）

薬効： 抗 *Clostridium difficile* トキシン B ヒトモノクローナル抗体

申請理由： 「トキシン B」を特異的に認識して中和するモノクローナル抗体（中和抗体）製剤。CDI の再発や腸管細胞障害に関与するトキシン B の働きを抑制することで、CDI の再発を抑える。

採用中止薬剤： なし（常時の在庫なし）

② 区分変更医薬品

オレンシア皮下注 125mg オートインジェクター1mL【院外限定】→【本採用】(リウマチ・膠原病科)

③ 剤形変更医薬品

ユリーフ錠 2mg/4mg → ユリーフ OD 錠 2mg/4mg (泌尿器科)

④ 後発品変更について

後発品が年に2回、発売されるため、継続的な後発品の変更が必要

先発名	後発名
オルメテックOD錠 20mg	オルメサルタンOD錠 20mg 「ニプロ」

※これまでどおり、外来での処方先発品での対応もできるようにします。

⑤ 使用成績調査について

<テムセル HS 注>

- (1) 調査名 : テムセル HS 注 使用成績調査 (全例調査)
- (2) 対象製品 : テムセル HS 注
- (3) 対象症例 : 造血幹細胞移植後の急性移植片対宿主病患者
- (4) 調査種類 : 使用成績調査 (全例調査)
- (5) 調査目的 : 造血幹細胞移植後の急性移植片対宿主病の治療に対し、テムセル HS 注が使用される患者の使用実態下における安全性及び有効性を把握する。
- (6) 調査方法 : 「テムセル HS 注使用成績調査 (全例調査) 実施要綱」に従う。
調査期間 : 本契約締結日 ~ 2026年3月
- (7) 調査担当医師 : 血液疾患センター
麥谷 安津子、井根 省二、市原 弘善、康 史朗、喜澤 佑介